

一学校教育目標一

豊かな心をもち

自ら学ぶたくましい子

(1)よく考えねばり強く学ぶ子

(2)心豊かで思いやりのある子

(3)すすんで体をきたえる元気な子

学校便り

第35号

H30年12月25日(火)

那覇市立

仲井真小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3330

# 仲井真っ子

## 二学期前半終了のお話朝会

### —「希望」—

本日、二学期前半終了の朝会で詩人、まど・みちおさんの「ぼくは何を」という題の詩を子どもたちに紹介した。まず、この詩を読む前に六年生が音楽発表会で合唱してくれた「旅立ちの日に」の録音を修一先生に流してもらった。この歌が今日の話のきっかけになったからである。特に、次のフレーズがとても心に残った。「勇気を翼にのせて、希望の風にのり」の部分である。そして、「ぼくは何を」という詩は、4年生のフロア

にある。正確にいと、4年2組の教室に入る上の壁に掲示されている。4年生の授業参観の際は、毎回見上げて読んでいた好きな詩である。

まど・みちおさんらしい、とても面白い詩である。

詩を読み上げた後、子どもたちには、次のように話した。

この詩は、やさしくて、勇氣があって、すなおで、賢くて、がまん強くて、勤勉で、美しい心をもった人間になりたい。そういう人間に少しずつでも近づきたいという純粋な「ぼく」の「希望」を歌っています。

みなさんは、なりたい自分がありますか。

今日はこのあと、担任の先生と二学期前半の振り返りをします。しっかりと受け止めて、二学期後半に向かって一人一人がもっている大切な力を捉え直し、新たな希望、目標につなげていきましょう。

明日から12日間の冬休みに入ります。1月7日(月)元気な顔で会いましょう！

ぼくは何を

まど・みちお

ぼくは 何をもっているのだ  
やさしさなら お母さんがもっている  
勇気なら お父さんが  
すなおさなら ポチが  
賢さなら 先生がもっている  
がまん強さなら 冬のムギが  
勤勉さんなら 夏のアリが  
そして 美しさなら  
道ばたの一本のタンポポがもっている

で ぼくよ 何をもっているのだ  
いつも後で しまったと思う  
おっちょこちよいと  
だれにも負けない いたずら心のほかに・・・  
笑うなかれ！

希望だ・・・  
やさしくて 勇氣があつて  
すなおで 賢くて  
がまん強くて 勤勉な  
美しい心  
に ぼくを少しでも近づけたいという・・・

笑うなかれ！  
という ぼくよ  
自分で笑っちゃ サマにならぬぞよ！